

愛媛県総合計画～未来につなぐ えひめチャレンジプラン～

政策 6 誰もが安心して暮らせる社会づくり

施策 23 様々な困難を抱えている人を地域ぐるみで支える社会の実現

施策 23 **様々な困難を抱えている人を地域ぐるみで支える社会の実現**
 担当部局 県民環境部、保健福祉部



1 現状

急速な少子高齢化や核家族化の進行に伴い、家庭内での支え合い機能が弱まってきているほか、地域における人と人とのつながりが希薄化してきたことに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により、人との接触機会が減り、孤独を感じる人が多くなっているといえます。また、部落差別や、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人等に対する人権侵害に加え、子どもの貧困やドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者等からの暴力）などが依然として存在しているほか、近年は、社会情勢の変化に伴い、インターネットを介した誹謗中傷等の新たな人権問題も発生しています。

2 課題

誰もが安心して暮らすことができるようにするため、県民の人権意識の高揚や人権侵害の被害者支援に取り組むほか、ドメスティック・バイオレンス（DV）を受けている人、犯罪被害者、生活困窮者など、社会を生きていく上で様々な困難を抱えている人に対し、必要な支援を行っていきます。

3 施策KGI

	基準値	目標値
人口10万人当たりの自殺死亡率	16.7 (令和3年)	12.8
〔参考指標〕 悩みを抱える人の支援体制が整備されていると思う県民の割合	15.0% (令和4年)	17.8%

(施策KGIの出典)
 ○人口10万人当たりの自殺死亡率：人口動態統計（厚生労働省）
 ○悩みを抱える人の支援体制が整備されていると思う県民の割合：県民2,000人アンケート調査（愛媛県実施）

4 施策の方向性と主な県の取組み

1 人権を尊重する社会づくり

- 学校や家庭、地域社会、職場など、あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進
- 県人権啓発センターを中心とした人権相談への対応及び当事者支援の充実
- インターネットを介した誹謗中傷の解消や、性的マイノリティへの理解促進

2 ドメスティック・バイオレンス（DV）、性暴力等への対応

- 配偶者から暴力を受けた人の速やかな保護と支援体制の整備
- 配偶者暴力相談支援センター・えひめ性暴力被害者支援センター「ひめここ（媛CC）」の適正な運営

3 犯罪被害者等への支援

- 犯罪被害者等支援条例（令和5年4月1日施行）を踏まえ、県民理解促進のための普及啓発を行うとともに、犯罪被害者等の経済的負担の軽減を図るための支援を実施

4 セーフティーネットの適切な提供による自立支援の促進

- 複合的な課題を抱える生活困窮者に対する生活保護や住宅支援などによる適切な支援

5 多様な主体が参画する地域づくり

- 多様な主体が連携し、地域全体で包括的な支援を行っていくためのネットワークづくり
- 孤独・孤立等の複合的な課題を解決するための官民連携プラットフォームの構築



差別をなくする県民のつどい



人権サポーターデー